

# 平成30年度 基金活用事業一覧

お寄せいただきました寄附金につきまして、平成30年度においては、子どもたちの学びを支援するための事業として、次の6事業へ、総額1,421,977円を活用させていただきました。

## 泉地区交流学习推進事業

双方向型の遠隔授業システムを導入することにより、泉小学校と泉第八小学校の交流学习を進め、子どもたちに集団での学びあいや質の高い教育に接する機会を増やす。さらに泉中学校の教諭が授業の指導に加わることで、小中一貫教育の推進につなげています。



【寄附金充当額 859,518円】

## 児童の学力向上のための授業改善

八代小学校において、平成29年度までの2年間にわたり、タブレット端末等を活用した授業実践や研究発表会等に取り組んできました。平成30年度においては、ICTを活用した学力向上対策についてさらに研究実践を重ね、11月に自主公開授業として「教育ICT活用実践研究公開授業」を実施し、4本の授業を公開しました。その後、八代小学校が継続的に行ってきた児童の学力向上のための授業改善の取組やICTを活用した授業展開等についての研究の成果と課題を県内外からの参加者に伝えることができました。

【寄附金充当額 199,000円】



## いきいき文政っ子プログラム

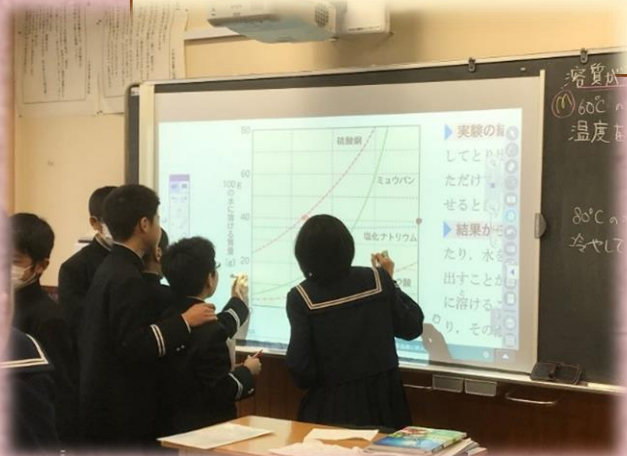
文政小学校において、算数科では、学級全体で使うフラッシュカードと児童同士で使うフラッシュカードを作成し、朝自習の時間や授業のはじめに活用しました。また、国語科では、既習事項の定着を図るためのワークシートを作成し、授業の中で活用しました。結果として、県学力調査で、定着率が全学年、昨年度比6～10ポイント向上しました。また、学びの手引き（作文、手紙、レポートの書き方等を1冊にした物）を作成し、児童の学力向上を図りました。

【寄附金充当額 98,035円】

## 授業研究活動推進事業

第二中学校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をテーマにして授業研究会並びに講演会を実施しました。授業研究会では本校の取組の状況や主体的・対話的な学びをどのように進めるか等、様々な視点から貴重なご意見をいただき、本校の今後の研究の参考となりました。また、文部科学省から講師をお招きして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について、本校の取組を基にその趣旨について講話をしていただきました。参加者のアンケートから、学校総体としての取組や学校づくり、授業実践等について貴重な評価をいただくことができました。

【寄附金充当額 153,700円】



## くま川教室教育支援事業

通級児童・生徒の下学年における履修内容の学習のため、参考書、問題集を購入し、ひとりひとりに合わせたきめ細かい学習指導を行い、学校復帰のための基礎的な学力の定着を図りました。また、くま川教室の一大取組の一つの「オリジナルカレンダー」を作成し、この取組を通して、子どもたちの自己有用感の育成や人間関係づくりを図りました。

【寄附金充当額 87,084円】

## QUテスト拡充事業

日奈久中学校において、2・3年生を対象に「hyper-QU」を2学期と3学期に1回ずつ実施し、「生徒個々の学級生活における満足感や、学校生活における意欲」、「学級集団の雰囲気や成熟状態」、「生徒の学級内での相対的位置」、「集団形成に必要な対人関係を営むためのスキルの定着状況」を把握することで、不登校になる可能性の高い生徒の早期発見と未然防止、いじめの予防と早期発見、対人関係スキルの育成に活かしました。  
※QUテストとは楽しい学校生活を送るためのアンケートのことで、このアンケートでクラスの一人一人の満足度を測ることができるとされています。

【寄附金充当額 24,640円】